

(社)兵庫県産業廃棄物協会会員各位

(社)兵庫県産業廃棄物協会
調査研究委員長 佐伯雅夫

産業廃棄物処理業における節電行動アンケート

震災の影響から関西地域においても電力不足が生じており、「夏のピーク時マイナス 10%の節電」が呼びかけられています。

そこで、会員における節電への取組状況についてアンケート調査を行います。下記にご記入の上 FAX でご回答をお願いします。ご多忙中恐縮ですがご協力をお願いします。

(回答期限：平成 23 年 8 月 31 日、回答先 FAX 078-371-8864)

会社名		従業員数	
業種	<input type="checkbox"/> 収集運搬業	<input type="checkbox"/> 中間処理 (焼却・破碎・その他)	<input type="checkbox"/> 最終処分 (埋立)

1. 次の節電対策の項目のうち、実施しているもの、実施を予定しているものに○をつけて下さい。

照明	<input type="checkbox"/> 執務エリアの照明を間引きする (13%節電) <input type="checkbox"/> 使用していないエリア (トイレ・廊下・倉庫等) の消灯を徹底する (3%節電) <input type="checkbox"/> 昼休みなどは完全消灯する <input type="checkbox"/> 従来型照明を高効率蛍光灯や LED 照明に交換する
空調	<input type="checkbox"/> 執務室の温度設定を 28 度にする (4%節電) <input type="checkbox"/> 使用していないエリア (会議室など) の空調を停止する (2%節電) <input type="checkbox"/> 日射を遮るためブラインド、遮熱フィルムやすだれ等を活用する (3%節電) <input type="checkbox"/> エアコンのフィルターを定期的に清掃する <input type="checkbox"/> 電気室やコンピューター室の設定温度を見直す <input type="checkbox"/> エアコン室外機周辺の障害物を取り除き、直射日光を避ける (10%節電) <input type="checkbox"/> ガスなど電気以外の空調熱源を優先使用する <input type="checkbox"/> 外気導入量の調整で換気動力や熱負荷を低減する (8%節電) <input type="checkbox"/> 省エネ型空調機器に交換する
OA 機器	<input type="checkbox"/> 長時間席を離れるときは OA 機器の電源を切る・スタンバイにする (3%節電) <input type="checkbox"/> コピー機など事務機器の稼働台数を削減する
その他	<input type="checkbox"/> 具体的な節電目標を決めて取り組む <input type="checkbox"/> 節電担当者を決めて取組状況を点検する <input type="checkbox"/> 節電のため工場設備の運転方法等を工夫する <input type="checkbox"/> 自動販売機ディスプレイを常時消灯する <input type="checkbox"/> 設備・機器のメンテナンスを実施しロスを低減する <input type="checkbox"/> 省エネ型の設備・機器を導入する <input type="checkbox"/> コジェネレーション設備等の自家発電設備を設置する <input type="checkbox"/> 太陽光発電設備を設置する <input type="checkbox"/> 事務作業や工場の操業時間をずらすなどで電力ピークをシフトする

(参考：経済産業省ホームページ 節電.go.jp、兵庫県ホームページ)

2. 上記以外の取組や今後取組もうと考えていること、その他ご意見などがあればお書き下さい。

--

産業廃棄物処理業における節電行動アンケート 結果

この夏は、東日本大震災の影響により、全国的に節電が呼び掛けられました。それに応じて、地域、業種、規模を問わず、全国各地で節電への取り組みが実施されました。そこで、産業廃棄物処理業界での節電への取り組みがどのようにされていたかを調査するために皆様へアンケートをお願いし、いただいたご回答を集計した結果を報告いたします。

アンケート回答総数	124
-----------	-----

従業員数	1～9人	23
	10～29人	46
	30～49人	23
	50～99人	15
	100～	14

業 種	収集運搬	104
	中間処理	56
	(焼却)	4
	(破碎)	18
	(その他)	12
	最終処分	3

注意事項： ※未回答や兼業等の理由により、総数と各項目合計数は必ずしも一致しない
 ※実施率は回答総数に占める回答数の割合(実施率=回答数/回答総数×100)
 ※「収運のみ」は収集運搬業のみで抽出した回答における実施率
 ※「施設所有」は中間処理又は最終処分ありで抽出した回答における実施率

照 明	回答数	実施率	収運のみ	施設所有
・執務エリアの照明を間引きする	70	56.5%	53.8%	59.6%
・使用していないエリアの消灯を徹底する	119	96.0%	93.8%	98.2%
・昼休み等は完全消灯する	69	55.6%	53.8%	57.9%
・従来型照明を高効率蛍光灯やLED照明に交換する	15	12.1%	9.2%	15.8%

空 調	回答数	実施率	収運のみ	施設所有
・執務室の温度設定を28℃にする	72	58.1%	58.5%	59.6%
・使用していないエリアの空調を停止する	110	88.7%	86.2%	91.2%
・日射を遮るためのブラインド、遮熱フィルムやすだれ等を活用する	100	80.6%	80.0%	82.5%
・エアコンのフィルターを定期的に清掃する	92	74.2%	66.2%	82.5%
・電気室やコンピューター室の設定温度を見直す	8	6.5%	4.6%	7.0%
・エアコン室外機周辺の障害物を取り除き、直射日光を避ける	31	25.0%	21.5%	26.3%
・ガスなど電気以外の空調熱源を優先使用する	9	7.3%	7.7%	7.0%
・外気導入量の調整で換気動力や熱負荷を低減する	10	8.1%	9.2%	7.0%
・省エネ型空調機器に交換する	14	11.3%	6.2%	15.8%

OA 機 器	回答数	実施率	収運のみ	施設所有
・長時間席を離れるときはOA機器の電源を切る・スタンバイにする	99	79.8%	83.1%	77.2%
・コピー機など事務機器の稼働台数を削減する	17	13.7%	13.8%	14.0%

その他

	回答数	実施率	収運のみ	施設所有
・具体的な節電目標を決めて取り組む	41	33.1%	36.9%	28.1%
・節電担当者を決めて取り組み状況を点検する	30	24.2%	24.6%	24.6%
・節電のため工場設備の運転方法等を工夫する	32	25.8%	9.2%	43.9%
・自動販売機ディスプレイを常時消灯する	17	13.7%	4.6%	24.6%
・設備・機器のメンテナンスを実施しロスを低減する	23	18.5%	10.8%	28.1%
・省エネ型の設備・機器を導入する	12	9.7%	6.2%	12.3%
・コージェネレーション設備等の自家発電設備を設置する	1	0.8%	0.0%	1.8%
・太陽光発電設備を設置する	3	2.4%	1.5%	3.5%
・事務作業や工場の作業時間をずらすなどで電力ピークをシフトする	7	5.6%	4.6%	7.0%

総 評

実施率の高低が明確となる傾向があった。使用していないエリアの消灯(96.0%)、使用していないエリアの空調停止(88.7%)、日射を遮る工夫(80.6%)、OA機器の電源を切る(79.8%)、エアコンのフィルター清掃(74.2%)のように実施率の高い項目がある一方、それ以外はほとんど3割を切っており、資本投資が必要となるものは低い傾向があった。ただし、中間処理や最終処分施設を所有している場合はその限りではなく、処分施設を持っている・持っていないでの実施率の差を見ると、最も差の大きかった項目は「節電のため工場設備の運転方法等を工夫する」で、「施設所有」で実施率43.9%、「収運のみ」で実施率9.2%、その差34.6%だった。これは、項目からして当然の結果であったが、それ以外にも、設備機器に関わる項目で「施設所有」での実施率が「収運のみ」での実施率を上回ることが目に付いた。逆に、「収運のみ」が「施設所有」を上回ったのは「具体的な節電目標を決めて取り組む」と「長時間席を離れるときはOA機器の電源を切る・スタンバイにする」の2項目だった。

つまり、ハード的な対策となる項目についてで差が目立つのだが、それは、その他のソフト的な対策についてはあまり差がないことでもあり、取り組むべきところ、取り組めるところを実施する姿勢は業種を問わないとも評価でき、節電への積極的姿勢をうかがうことが出来る。

自由意見について

大きく分けて、消費電力の調整、日射の遮断、啓蒙活動、クールビズの推進、電力ピークシフト、環境認証の取得が挙げられた。それぞれの特徴は以下の通り。

消費電力調整 照明使用時間の短縮や、PCを強制的にスタンバイになるように設定する等、消費電力を低減する取り組み

日射遮断 塗料を塗る、グリーンカーテンの導入等、日射を遮断する取り組み

啓蒙 月例会議といった機会に節電を促す等、節電意識を高める取り組み

クールビズ クールビズの実施期間を長くするといった取り組み

ピークシフト(出勤日振替) 夏季(7~9月)の出勤日を秋季(10~12月)の公休日と振り替えたり、土日の休日を平日に振り替えたりする取り組み

環境認証 ISOやエコアクション21といった環境認証の取り組みにより、節電や環境負荷の低減をする取り組み

産業廃棄物処理業における節電行動アンケート 結果

(社)兵庫県産業廃棄物協会

【業種別集計】

収運のみ 65 (=収集運搬業のみ)
 施設有り 57 (=中間処理施設や最終処分場を所有)

照 明

	収運のみ	施設有り
・執務エリアの照明を間引きする (各業種別の回答数に占める割合)	35 53.8%	34 59.6%
・使用していないエリアの消灯を徹底する (各業種別の回答数に占める割合)	61 93.8%	56 98.2%
・昼休み等は完全消灯する (各業種別の回答数に占める割合)	35 53.8%	33 57.9%
・従来型照明を高効率蛍光灯やLED照明に交換する (各業種別の回答数に占める割合)	6 9.2%	9 15.8%

空 調

	収運のみ	施設有り
・執務室の温度設定を28℃にする (各業種別の回答数に占める割合)	38 58.5%	34 59.6%
・使用していないエリアの空調を停止する (各業種別の回答数に占める割合)	56 86.2%	52 91.2%
・日射を遮るためのブラインド、遮熱フィルムやすだれ等を活用する (各業種別の回答数に占める割合)	52 80.0%	47 82.5%
・エアコンのフィルターを定期的に清掃する (各業種別の回答数に占める割合)	43 66.2%	47 82.5%
・電気室やコンピューター室の設定温度を見直す (各業種別の回答数に占める割合)	3 4.6%	4 7.0%
・エアコン室外機周辺の障害物を取り除き、直射日光を避ける (各業種別の回答数に占める割合)	14 21.5%	15 26.3%
・ガスなど電気以外の空調熱源を優先使用する (各業種別の回答数に占める割合)	5 7.7%	4 7.0%
・外気導入量の調整で換気動力や熱負荷を低減する (各業種別の回答数に占める割合)	6 9.2%	4 7.0%
・省エネ型空調機器に交換する (各業種別の回答数に占める割合)	4 6.2%	9 15.8%

OA 機器

	収運のみ	施設有り
・長時間席を離れるときはOA機器の電源を切る・スタンバイにする (各業種別の回答数に占める割合)	54 83.1%	44 77.2%
・コピー機など事務機器の稼働台数を削減する (各業種別の回答数に占める割合)	9 13.8%	8 14.0%

そ の 他

	収運のみ	施設有り
・具体的な節電目標を決めて取り組む (各業種別の回答数に占める割合)	24 36.9%	16 28.1%
・節電担当者を決めて取り組み状況を点検する (各業種別の回答数に占める割合)	16 24.6%	14 24.6%
・節電のため工場設備の運転方法等を工夫する (各業種別の回答数に占める割合)	6 9.2%	25 43.9%
・自動販売機ディスプレイを常時消灯する (各業種別の回答数に占める割合)	3 4.6%	14 24.6%
・設備・機器のメンテナンスを実施しロスを低減する (各業種別の回答数に占める割合)	7 10.8%	16 28.1%
・省エネ型の設備・機器を導入する (各業種別の回答数に占める割合)	4 6.2%	7 12.3%
・コージェネレーション設備等の自家発電設備を設置する (各業種別の回答数に占める割合)	0 0.0%	1 1.8%
・太陽光発電設備を設置する (各業種別の回答数に占める割合)	1 1.5%	2 3.5%
・事務作業や工場の操業時間をずらすなどで電力ピークをシフトする (各業種別の回答数に占める割合)	3 4.6%	4 7.0%

産業廃棄物処理業における節電行動アンケート 結果

【従業員数規模別集計】

1～9人 = 23
50～99人 = 15

10～29人 = 46
100人～ = 14

30～49人 = 23

照 明	1～9人	10～29人	30～49人	50～99人	100人～
・執務エリアの照明を間引き (各業種別の回答数に占める割合)	14 60.9%	25 54.3%	12 52.2%	8 53.3%	10 71.4%
・非使用エリアの消灯を徹底 (各業種別の回答数に占める割合)	21 91.3%	45 97.8%	23 100.0%	14 93.3%	13 92.9%
・昼休み等は完全消灯 (各業種別の回答数に占める割合)	10 43.5%	23 50.0%	14 60.9%	9 60.0%	10 71.4%
・高効率蛍光灯やLED照明に交換 (各業種別の回答数に占める割合)	2 8.7%	6 13.0%	0 0.0%	4 26.7%	3 21.4%

空 調	1～9人	10～29人	30～49人	50～99人	100人～
・執務室の温度設定を28℃ (各業種別の回答数に占める割合)	12 52.2%	25 54.3%	14 60.9%	11 73.3%	7 50.0%
・非使用エリアの空調を停止 (各業種別の回答数に占める割合)	18 78.3%	42 91.3%	21 91.3%	13 86.7%	13 92.9%
・ブラインド、遮熱フィルム等を活用 (各業種別の回答数に占める割合)	18 78.3%	33 71.7%	19 82.6%	14 93.3%	13 92.9%
・エアコンのフィルターを定期的に清掃 (各業種別の回答数に占める割合)	16 69.6%	36 78.3%	15 65.2%	12 80.0%	12 85.7%
・電気室などの設定温度を見直す (各業種別の回答数に占める割合)	2 8.7%	3 6.5%	1 4.3%	0 0.0%	1 7.1%
・室外機周辺の障害物を取り除く (各業種別の回答数に占める割合)	6 26.1%	16 34.8%	3 13.0%	3 20.0%	2 14.3%
・電気以外の空調熱源を優先使用 (各業種別の回答数に占める割合)	1 4.3%	2 4.3%	1 4.3%	1 6.7%	3 21.4%
・外気導入量の調整 (各業種別の回答数に占める割合)	2 8.7%	4 8.7%	2 8.7%	1 6.7%	1 7.1%
・省エネ型空調機器に交換 (各業種別の回答数に占める割合)	3 13.0%	5 10.9%	1 4.3%	1 6.7%	4 28.6%

OA 機器	1～9人	10～29人	30～49人	50～99人	100人～
・非使用時のOA機器の電源を切る (各業種別の回答数に占める割合)	20 87.0%	37 80.4%	18 78.3%	10 66.7%	12 85.7%
・事務機器の稼働台数を削減 (各業種別の回答数に占める割合)	1 4.3%	9 19.6%	3 13.0%	3 20.0%	0 0.0%

そ の 他	1～9人	10～29人	30～49人	50～99人	100人～
・具体的な節電目標を決めて取り組む (各業種別の回答数に占める割合)	10 43.5%	12 26.1%	8 34.8%	3 20.0%	6 42.9%
・節電担当者を決めて取り組みを点検 (各業種別の回答数に占める割合)	3 13.0%	10 21.7%	8 34.8%	3 20.0%	6 42.9%
・工場設備の運転方法等を工夫 (各業種別の回答数に占める割合)	4 17.4%	13 28.3%	4 17.4%	4 26.7%	4 28.6%
・自販機ディスプレイを常時消灯 (各業種別の回答数に占める割合)	2 8.7%	6 13.0%	2 8.7%	4 26.7%	3 21.4%
・設備のメンテナンスでロスを低減 (各業種別の回答数に占める割合)	4 17.4%	10 21.7%	4 17.4%	2 13.3%	2 14.3%
・省エネ型の設備・機器を導入 (各業種別の回答数に占める割合)	1 4.3%	4 8.7%	2 8.7%	2 13.3%	3 21.4%
・自家発電設備を設置 (各業種別の回答数に占める割合)	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 7.1%
・太陽光発電設備を設置 (各業種別の回答数に占める割合)	1 4.3%	0 0.0%	0 0.0%	1 6.7%	1 7.1%
・電力ピークをシフト (各業種別の回答数に占める割合)	0 0.0%	1 2.2%	2 8.7%	0 0.0%	4 28.6%